

(案)

報告

題名



平成29年（2017年）〇月〇日

日本学術会議

安全保障と学術に関する検討委員会

この報告は、日本学術会議安全保障と学術に関する検討委員会の審議結果を取りまとめ公表するものである。

日本学術会議安全保障と学術に関する検討委員会

委員長	杉田 敦	(第一部会員)	法政大学法学部教授
副委員長	大政 謙次	(第二部会員)	東京大学名誉教授、愛媛大学大学院農学研究科客員教授、高知工科大学客員教授
幹事	佐藤 岩夫	(第一部会員)	東京大学社会科学研究所教授
幹事	小松 利光	(第三部会員)	九州大学名誉教授
	井野瀬久美恵	(第一部会員)	甲南大学文学部教授
	向井 千秋	(第二部会員)	東京理科大学特任副学長
	森 正樹	(第二部会員)	大阪大学大学院医学系研究科消化器外科学教授
	山極 壽一	(第二部会員)	京都大学総長
	大西 隆	(第三部会員)	豊橋技術科学大学学長、東京大学名誉教授
	岡 眞	(第三部会員)	東京工業大学理学院教授
	土井美和子	(第三部会員)	国立研究開発法人情報通信研究機構監事
	花木 啓祐	(第三部会員)	東京大学大学院工学系研究科教授
	安浦 寛人	(第三部会員)	九州大学理事・副学長
	小林 傳司	(連携会員)	大阪大学理事・副学長(教育担当)
	小森田秋夫	(連携会員)	神奈川大学法学部教授

本提言の作成にあたり、以下の職員が事務及び調査を担当した。

事務	小林真一郎	企画課長
	吉本 崇史	企画課総括課長補佐
	石井 康彦	参事官(審議第二担当)
	松宮 志麻	参事官(審議第二担当)付参事官補佐
	西川 美雪	参事官(審議第二担当)専門職付
	大橋 睦	参事官(審議第二担当)専門職付
	大庭 美穂	参事官(審議第二担当)専門職付
調査	川名 晋史	上席学術調査員
	下田 隆二	上席学術調査員
	辻 明子	上席学術調査員

目 次

はじめに	1
1 ○○○○	2
(1) ○○○○	2
① ○○○○○○	3
② ○○○○	5
③ ○○○○	6
ア ○○○○○○○	7
イ ○○○○○	8
(ア) ○○○○○	10
(イ) ○○○	12
ウ ○○○○○○	15
④ ○○○○	16
⑤ ○○	17
(2) ○○○○○	・
(3) ○○○	・
2 ○○○○○	・
	・
	・
	・
	・
	・
おわりに	
<用語の説明>.....	2
<参考資料1>審議経過	4
<参考資料2>学術フォーラム開催	6
<付録>.....	7

本文は、20ページ以内で作成する。

(本 文)

<用語の説明>

<参考文献>

- [1] 日本学術会議、声明「戦争を目的とする科学の研究には絶対従わない決意の表明」、昭和25年（1950年）.
- [2] 日本学術会議、声明「原子力の研究と利用に関し、公開、民主、自主の原則を求める声明」、昭和29年（1954年）.
- [3] 日本学術会議、声明「軍事目的のための科学研究を行わない声明」、昭和42年（1967年）.
- [4] 日本学術会議、科学・技術のデュアル・ユース問題に関する検討委員会、報告「科学・技術のデュアル・ユース問題に関する検討報告」、平成24年（2012年）.
- [5] 日本学術会議、声明「科学者の行動規範—改訂版—」、平成25年（2013年）.
- [6] 日本学術会議、声明「日本学術会議の発足にあたって科学者としての決意表明（声明）」昭和24年（1949年）.
- [7] 日本学術会議、声明「科学の国際協力についての日本学術会議の見解（声明）」、昭和36年（1961年）.
- [8] 日本学術会議第170回総会議事録、平成27年（2015年）10月.
- [9] 日本学術会議第171回総会議事録、平成28年（2016年）4月.
- [10] 日本学術会議第171回総会会長活動報告資料、平成28年（2016年）4月.
- [11] 日本学術会議第172回総会議事録、平成28年（2016年）10月.
- [11] 防衛省防衛装備庁、平成27年度 安全保障技術研究推進制度の公募要領.
- [12] 防衛省防衛装備庁、平成28年度安全保障技術研究推進制度 公募要領.
- [13] 防衛省防衛装備庁、平成29年2月 委託契約事務処理要領.

<参考資料 1> 審議経過

平成 28 年

6 月 24 日 安全保障と学術に関する検討委員会（第 1 回）

1. 本委員会の位置付けについて
2. 委員長の選出、副委員長・幹事の指名と承認
3. 意見交換、今後の審議の進め方について

7 月 28 日 安全保障と学術に関する検討委員会（第 2 回）

1. 前回議事録（案）の確認
2. 論点整理（小森田委員）を受けて討議
3. 今後の進め方について
4. その他

8 月 24 日 安全保障と学術に関する検討委員会（第 3 回）

1. 各夏季部会での討議の報告
2. 軍事的利用と民生的利用、及びデュアル・ユース問題について
3. その他

9 月 30 日 安全保障と学術に関する検討委員会（第 4 回）

1. 第二部の夏季部会における意見交換状況について
2. 軍事的利用と民生的利用及びデュアル・ユース問題について
3. 安全保障にかかわる研究が、学術の公開性・透明性に及ぼす影響
林紘一郎先生（情報セキュリティ大学院大学教授）からの説明
杉山滋郎先生（北海道大学名誉教授）からの説明
4. その他

10 月 28 日 安全保障と学術に関する検討委員会（第 5 回）

1. 前回の総会・部会について
2. 軍事的利用と民生的利用及びデュアル・ユース問題について
・西崎文子先生（第一部会員、東京大学大学院総合文化研究科教授）からの説明
3. 安全保障にかかわる研究が学術の公開性・透明性に及ぼす影響
・安浦委員からの説明
・佐藤委員からの説明
・小林委員からの説明
4. 安全保障にかかわる研究資金の導入が学術研究全般に及ぼす影響
5. その他

11 月 18 日 安全保障と学術に関する検討委員会（第 6 回）

1. 安全保障にかかわる研究資金の導入が学術研究全般に及ぼす影響
・防衛装備庁からの説明
外園博一氏（防衛装備庁防衛技監）からの説明

鈴木茂氏（防衛装備庁技術戦略部技術振興官）からの説明

・池内了先生（名古屋大学名誉教授）からの説明

2. シンポジウムについて

3. その他

12月16日 安全保障と学術に関する検討委員会（第7回）

1. 研究適切性の判断は個々の科学者に委ねられるか、機関等に委ねられるか

・赤林朗先生（東京大学大学院医学系研究科教授）からの説明

・小沼通二先生（慶応義塾大学名誉教授）からの説明

・鈴木達治郎先生（長崎大学核兵器廃絶研究センターセンター長、教授）からの説明

2. 安全保障にかかわる研究資金の導入が学術研究全般に及ぼす影響

・吉川弘之先生（日本学術会議栄誉会員、国立研究開発法人科学技術振興機構特別顧問）からの説明

3. 日本学術会議声明をめぐる議論からの展望

・井野瀬委員からの説明

4. 今後の進め方

5. その他

・小森田委員からの説明

・小松委員からの説明

1月16日 安全保障と学術に関する検討委員会（第8回）

1. 審議経過の中間とりまとめについて

2. その他

2月4日 安全保障と学術に関する検討委員会（第9回）

1. 日本学術会議学術フォーラムについて

2. その他

2月15日 安全保障と学術に関する検討委員会（第10回）

1. 学術フォーラムについて

2. 残された論点について

3. その他

3月7日 安全保障と学術に関する検討委員会（第11回）

1. 意思の表出について

2. その他

※ 幹事会及び総会における承認手続は未定のため、決定後記載。

＜参考資料2＞学術フォーラム開催

日本学術会議主催学術フォーラム 安全保障と学術の関係：日本学術会議の立場

◆日 時：平成29年2月4日（土）13：00～17：00（開場：12：30～）

◆場 所：日本学術会議講堂
（地下鉄千代田線乃木坂駅5番出口すぐ・国立新美術館隣）

◆開催趣旨：

日本学術会議は1950年、1967年に「戦争を目的とする科学研究」を行わないとの声明を発した。近年、軍事と学術が各方面で接近を見せる中、民生的な研究と軍事的な研究との関係をどうとらえるかや、軍事研究が学術の公開性・透明性に及ぼす影響などをめぐって審議すべく、「安全保障と学術に関する検討委員会」が設置された。同委員会の中間報告を受けて審議の状況等を紹介するとともに、内外から意見を聴取するため、学術フォーラムを開催する。

◆プログラム：

総合司会 大政 謙次（日本学術会議第二部会員、東京大学名誉教授、愛媛大学大学院農学研究科客員教授、高知工科大学客員教授）

13：00-13：05 開会挨拶

挨拶 大西 隆（日本学術会議会長・第三部会員、豊橋技術科学大学学長、東京大学名誉教授）

＜第Ⅰパート：委員会中間とりまとめの状況報告＞

13：05-13：35 委員会中間とりまとめの状況報告

杉田 敦（日本学術会議第一部会員、法政大学法学部教授）

＜第Ⅱパート：日本学術会議の内外の意見＞

進行 小松 利光（日本学術会議第三部会員、九州大学名誉教授）

13：35-13：50 学術がたどった歴史から学ぶ

兵藤 友博（日本学術会議第一部会員、立命館大学経営学部教授）

13：50-14：05 「学術研究のために」という視点

須藤 靖（日本学術会議第三部会員、東京大学大学院理学系研究科教授）

14：05-14：20 経営技術論的視点から見たデュアルユース

佐野 正博（日本学術会議連携会員、明治大学経営学部教授）

14：20-14：35 軍民両用（デュアルユース）研究とは何か—科学者の使命と責任について

福島 雅典（日本学術会議連携会員、財団法人先端医療振興財団臨床研究情報センター長（兼）研究事業統括）

14：35-14：50 防衛技術とデュアルユース

西山 淳一（公益財団法人未来工学研究所 政策調査分析センター研究参与）

14：50-15：05 大学と軍事研究

根本 清樹（朝日新聞社論説主幹）

15：05—15：20 （休憩）

＜第Ⅲパート：総合討論＞

進行 杉田 敦（日本学術会議第一部会員、法政大学法学部教授）

15：20-16：55 総合討論

（学術フォーラム参加者と安全保障と学術に関する検討委員会委員による質疑応答）

16：55-17：00 閉会挨拶

挨拶 花木 啓祐（日本学術会議副会長・第三部会員、東京大学大学院工学系研究科教授）

17：00 閉会

<付録>